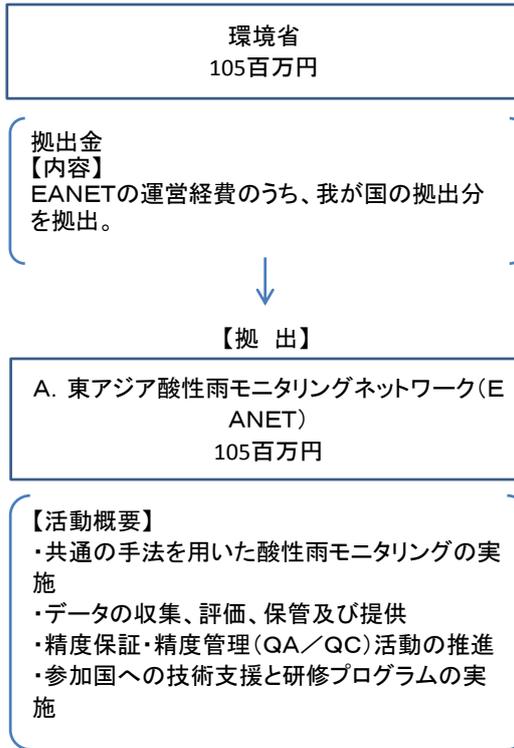


行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	東アジア酸性雨モニタリングネットワーク拠出金	事業開始年度	平成14年度	作成責任者		
担当部局庁	地球環境局	担当課室	環境保全対策課	課長代行 江口博行		
会計区分	一般会計	上位政策	地球環境の保全			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—	関係する計 画、通知等	「東アジア酸性雨モニタリングネットワークの実施に関する共同声明(平成12年10月26日)」			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	東アジア地域の酸性雨の状況に関して共通の理解を形成することなどを目的に、平成13年1月から本格稼働を開始している「東アジア酸性雨モニタリングネットワーク(EANET)」の活動を推進することにより、東アジア地域における酸性雨問題の現状と将来について、参加各国間の共通の認識を醸成し、国際協調による東アジア地域全体の酸性雨対策の枠組みづくりを目指す。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	EANETの運営経費のうち、我が国の拠出分を拠出するもの。 <EANETの概要> 東アジア地域における酸性雨問題に関する地域協力体制の確立を目的として、2001年1月から本格稼働。参加国は13カ国。共通の手法を用いた酸性雨モニタリングを実施。また、データの収集・評価・保管、精度保証・精度管理活動等も実施している。					
実施状況	平成14年度より、我が国の拠出分を拠出している。 なお、EANET参加国は国連分担率を踏まえ、自発的に拠出する。 (参考)2009年の国連分担率 カンボジア 0.001%、中国 2.667%、インドネシア 0.161%、日本 16.624%、ラオス 0.001%、マレーシア 0.190%、モンゴル 0.001%、ミャンマー 0.005%、フィリピン 0.078%、韓国 2.173%、ロシア 1.200%、タイ 0.186%、ベトナム 0.024%					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	129	126	105	96	90
	執行額	129	126	105		
	執行率	100%	100%	100%		
	総事業費(執行ベース)	129	126	105		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	EANETの運営経費については、毎年開催されている政府間会合に報告されており、十分に用途を把握できる状況にある。なお、運営経費は、モニタリングデータの収集・評価、精度管理・精度保証活動の実施、各種会合の開催等に使用されている。				
	見直しの余地	これまでの拠出により、EANET推進のための基盤(体制面、財政面)の強化に貢献している。 最新の国連分担率(日本:12.530%)を踏まえ、我が国の拠出を行う。 引き続き、政府間会合等を通じて活動内容の進捗状況を随時把握し、活動への投入規模の見直し提案を行う等、効率的な運営が行われるよう求めていく。				
予算監視の所見効率化チー	現状維持 (引き続き、必要最低限の拠出となるよう検討を進めること。)					
補記						

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位:百万円)



費目・用途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。用途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A. 東アジア酸性雨モニタリングネットワーク(EANET)			C.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
拠出金	東アジア酸性雨モニタリングネットワーク拠出金	105			
計		105	計		0
B.			D.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0